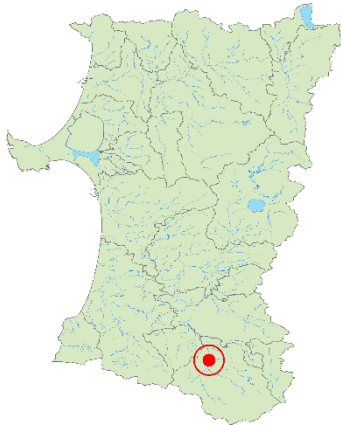




## 地域概要

湯沢市は、秋田県の最南東部に位置し、小野小町生誕の地として知られている。当会が保全対象とする河川は、一級河川の雄物川の上流部であり、古くから川魚漁が盛んで、イワナやヤマメ、アユ、カジカ、コイなど多様な魚種を対象に行われてきた。また、近年では県外からも多くの釣り人が溪流釣りなどを楽しみに訪れる。



## 活動の背景

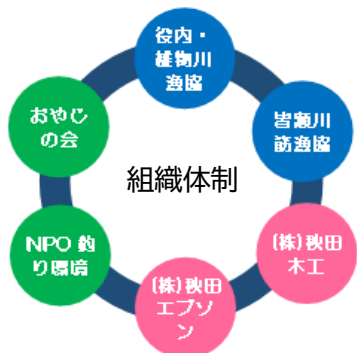
当地域では、近年、河川内でゴミが散見されるなど、河川環境の悪化が懸念されている。また、当地が雄物川の最上流部にあることから、漁業資源であるアユの遡上が横断工作物の影響で妨げられている。更に、夏季に流量が低下し、渇水状態となることが多く、河川の生態系に大きな影響を与えている。この渇水については、山の保水力の低下が要因の一つではないかと考えられている。

こういった自然環境の悪化から、当組織設立前の平成6年頃から漁協や地元の有志が集まり河川清掃を始めることにした。また、それをきっかけに、植樹や夜突き（環境学習）などの取組を追加し、活動を続けてきた。現在は、こうした河川環境の保全に係る取り組みを、地元の企業やNPOなどとも連携し、水産多面的機能発揮対策事業を活用しながら推進している。

## 活動方針

当該活動の主な目的は、河川環境や生態系の保全である。組織の体制は下記の体制図のとおり多様で、それぞれ異なる目標を持って取り組みを行っている。各々の目標は、漁協は主に河川環境の保全や漁獲対象種の増加、伝統漁法の伝承を掲げている。企業は河川だけではなく植樹など流域一体の環境保全を、NPO等は河川環境の保全や親水性の向上などを、目指し取り組みを進めている。

各主体で目標は多少異なるものの、活動方針は、同じ目的である河川環境・生態系の保全に向かって連携を図りながら取り組みを展開することになっている。



## 活動実績

現在の活動は、漁協組合員が主となり、企業やNPOなどが構成メンバーとして協力し、イベントごとに地元の建設会社や地域住民などによるボランティアの助けを受けながら取り組みを進めている。活動メンバーの中心となる漁協組合員は、60～70代が多いものの、20～40代の

若い世代も少しずつ増えている。

現在取り組んでいる活動は、河川清掃（モニタリング）、簡易魚道の設置、水生生物の観察・捕獲（川遊び体験や環境学習、夜突き大会）、育樹である。また、これまでの活動は、平成25～27年にコイの放流、平成18～27年に育樹の前身である植樹を行ってきた。



河川清掃



モニタリング



モニタリング(同定作業)



簡易魚道の設置 2019年



簡易魚道の設置 2018年



川遊び体験



環境学習



夜突き大会

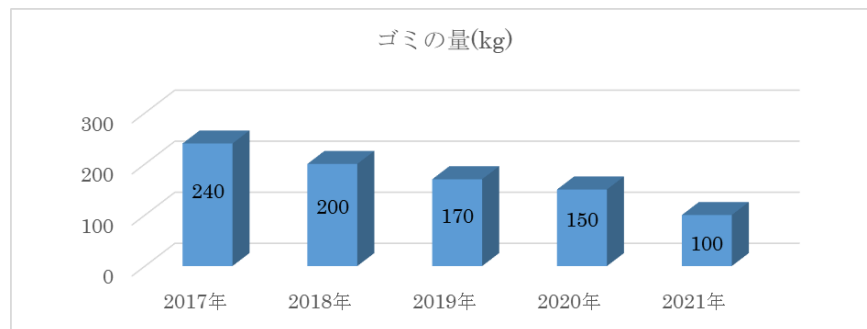


育樹

## 活動の成果と今後の課題・方針

### (1) 活動の成果

データとして目に見える成果としては、河川清掃によってゴミの回収量が年々減少していることが挙げられる（下図参照）。これは、きれいな河川敷にはゴミを捨てにくいという意識や、自分たちがきれいにした河川を維持しようという意識が働き、年々、川やその流域でゴミを捨てる人が減ってきたおかげではないかと考える。



### (2) 今後の課題・方針

一方、モニタリング活動として実施した簡易魚道の設置による魚の遡上数や底生生物の種数・個体数、夜突きのCPUEなどの結果においては、十分な成果が未だ読み取れていない。ただし、活動メンバーや活動に協力する人々の取り組みに対する姿勢や向上心は、活動を進めるとともに高まっている。また、当組織では、現役で仕事をしている20～40代のメンバーが活動に積極的に参加しており、世代交代も進みつつある。今後も、これまで行ってきた河川清掃や夜突き大会、育樹等の活動を継続し、河川愛護の精神を育んでいければと考えている。